

# 取り扱い説明書

**DAYTONA®**

\*取り付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。

\*この取り扱い説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。

\*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輛を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取り扱い説明書も併せてお渡し下さい。

37304①/③

レーシングカーボン マフラー	適応車種	商品 NO.
	モンキー、ゴリラ、 '99規制前まで	37304

この度はデイトナ「レーシングカーボンマフラー」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。御使用前には必ずこの取り扱い説明書をよくお読み下さい。また、取り付け前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。なお、万一お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店に御相談下さい。

## <特徴>

- パワーを重視し排気抵抗を抑えた、ストレート構造のサイレンサーを採用しました。
- JMC A認定のクロームメッキ仕上げEX+カーボンサイレンサー
- 8インチの車体にマッチするちょうど合う長さに設定しました。(\*10インチのロングスイングアームにも合います)
- 純正キックアームでも使用可能です、また一般的なバックステップは使用不可です。  
(操作しにくいので、当社製鍛造キックアーム品番35972 ¥13800 または、モンキーR系のキックアームに交換して下さい)

JMC A認定番号/00210290		
車種/パーツナンバー	近接(dB/rpm)	注記
モンキー / 37304	89 / 3750	* 99/8/31 までに生産された車両
50cc以下のJMC A騒音規制値	95	* 99/8/31 までに生産された車両
50cc以下の保安基準の騒音規制値(99規制対象車両)	84	* 99/9/01 から生産された車両
50cc以下の保安基準の騒音規制値(99規制前車両)	95	* 99/8/31 までに生産された車両
50cc超~125cc以下の保安基準の騒音規制値	95	* 現行生産車両

\* 本商品は50CCの車両にてJMC A認定試験に合格した商品です、99/9/01 (99年の騒音規制)以降に生産された車両やボアアップ等のチューニングをした車両での使用はJMC Aの適合外です、また公道での使用の際には保安基準内に音量を押しさえて使用して下さい、保安基準を満たさない状況での使用は道路交通法の取締りの対象です。

## <商品内容>

No	パーツ名	サイズ(mm)	数量	No	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	マフラーCOMP		1	⑥	六角ナット (M8)	M8	1
②	マフラーステー		1	⑦	平ワッシャー	M8用	1
③	マフラーバンド		1	⑧	スプリングワッシャー		1
④	ゴムシート		1	⑨	JMC Aプレートカード		1
⑤	六角穴付ボルト (M8)	M8	1				

## [取り付け上の注意]

- ・ エンジンを掛けると、マフラーは非常に高温となります。エンジンを停止し車体全体が十分に冷えるまでは作業を開始しないで下さい。また、高温のときには、絶対にガソリンや引火性のあるワックス、クリーナー、塗料などのケミカル製品をマフラー等に垂らしたり吹き付けたりしないで下さい。火傷をしたり、バイク損傷や火災の原因となります。
- ・ 排気関係の部品は錆びてボルトやナットが緩みにくいことがあります。無理に緩めようとするとボルトが折れるなど損傷の原因となりますので、緩みにくい場合はスプレー式の浸透性潤滑油等を使用し、適正な工具で無理のないように作業を行って下さい。
- ・ ボルト、ナット類の締め付けは、必ずトルクレンチを使い、部品サイズに合った所定の締付トルクで行って下さい。
- ・ この商品を装着する際は純正の部品も使用しますので、純正マフラーを取り外したときに各部品を紛失しないよう、充分注意して下さい。
- ・ この商品を装着する際には、エキゾーストガスケット(純正品)を新品に交換して下さい。  
HONDA純正エキゾーストパイプガスケット 品番/18291-001-010 (~'92)  
18291-HB2-900 ('95~)
- ・ この商品に、曲げ、切削、溶接等の追加工を行いますと、重大な事故の原因となりますので絶対に追加工はしないで下さい。バイクの性能が低下するだけでなく、騒音等が大きくなり道路運送車輛の保安基準を超えることがあります。これによってJMC A(全国二輪車用品連合会)認定パーツの対象外となるだけでなく当社保証の対象外にもなりますので御注意下さい。

## 【使用上の注意】

- ・この商品を装着した場合、ダブついたズボンやウエア等を着用していると、走行中もしくは停車中 など、右足でオートバイを支える際にマフラーに接触して火傷することがあります。ダブついたズボンやウエア等で乗車する場合には、必ずマジックテープなどでダブつきを押さえ、マフラーに接触しないようにして下さい。
- また、サンダル等、肌を露出した状態でも火傷することがありますから、ライディングブーツなど、安全で運転に適した装備で乗車して下さい。
- ・基本的に、このマフラーのみを装着した場合にはキャブレターのセッティングは必要ありません。ただし車輛のバラつき、またはエアクリナーの交換やボアアップ等のチューニングを行った場合には、キャブレターのセッティングが必要になる場合があります。
- ・走行を重ねていきますと、マフラーが(主にエキゾーストパイプ)が熱によって変色することがありますが、これは異常ではありません。
- ・J M C A (全国二輪車用品連合会)のカードは再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管して下さい。
- ・マフラーに足を掛けてオートバイにまたがらないで下さい。マフラー損傷の原因となります。
- ・オートバイのエンジンやマフラーは始動させると高温となります。枯れ草など燃えやすいものの上でエンジンを始動させたり、エンジン停止直後に停車や駐車をしますと火災発生の原因となります。オートバイ付近に燃えやすいものがないことを必ず確認してから駐車および停車をして下さい。
- ・ライディングマナーを守り、急加速、急発進、空ぶかしはしないで下さい。また、早朝や深夜等も静かな走行を心掛けて下さい。
- ・エンジンを始動しているとき、あるいはエンジンを停止させた直後は、マフラーが高温となっています。オートバイのマフラーは特に露出して触れやすいため、充分注意して下さい。また、オートバイを停車および駐車するときは歩行者など、近くの人や物に触れにくいようにして下さい。
- ・排気ガスには有毒な成分が含まれています。締め切った倉庫や車庫の中でエンジンを掛け続けると、一酸化炭素中毒の原因となります。必ず充分な換気を行い、早めにエンジンを停止させて下さい。
- ・マフラーからは有毒な排気ガスが出ます。停車または駐車中にオートバイの後ろ(排気ガス口)に、人(特に幼児やペットなどが居るにもかかわらずエンジンを掛け続けると一酸化炭素中毒の原因となり大変危険ですからエンジンは必ず停止させて下さい。また、風向きによっても同様の危険が発生しますので、充分ご注意下さい。
- ・当社のマフラーを装着しますと排気効率が改善されてオートバイの性能が向上することがあります。ブレーキ整備を完璧に行いオートバイの制動能力を確認した上で安全運転を心掛けて下さい。
- ・この商品はノーマルエンジンを前提にJ M C A (全国二輪車用品連合会)の認定を受けております。エンジン等をチューニングしたオートバイについては、音量などの増加によって認定の対象外となることがありますので充分注意して下さい。
- ・取り付けたボルト、スクリュー、ナットは、取り付け後100km程走行した時点で必ずトルクレンチを使い、所定トルクで増し締めして下さい。緩んだまま走行しますと事故の原因となり大変危険です。その後は約500km毎に必ず点検し、緩んだ箇所等があれば同様の増し締めを行って下さい。
- ・走行中に異常が発生した場合には、直ちにオートバイを安全な場所に停車し、異常箇所を点検して下さい。
- ・この商品は、記載されている適応車種以外の車輛には使用しないで下さい。
- ・この商品あるいはこの商品を取り付けたオートバイを他の第三者へ譲渡する場合には、必ずこの取り扱い説明書も併せてお渡し下さい。
- ・この商品は予告なしに仕様等を変更する場合があります。また、本文中にご紹介した商品についても同様です予め御了承下さい。

## < 純正マフラーの取り外し >

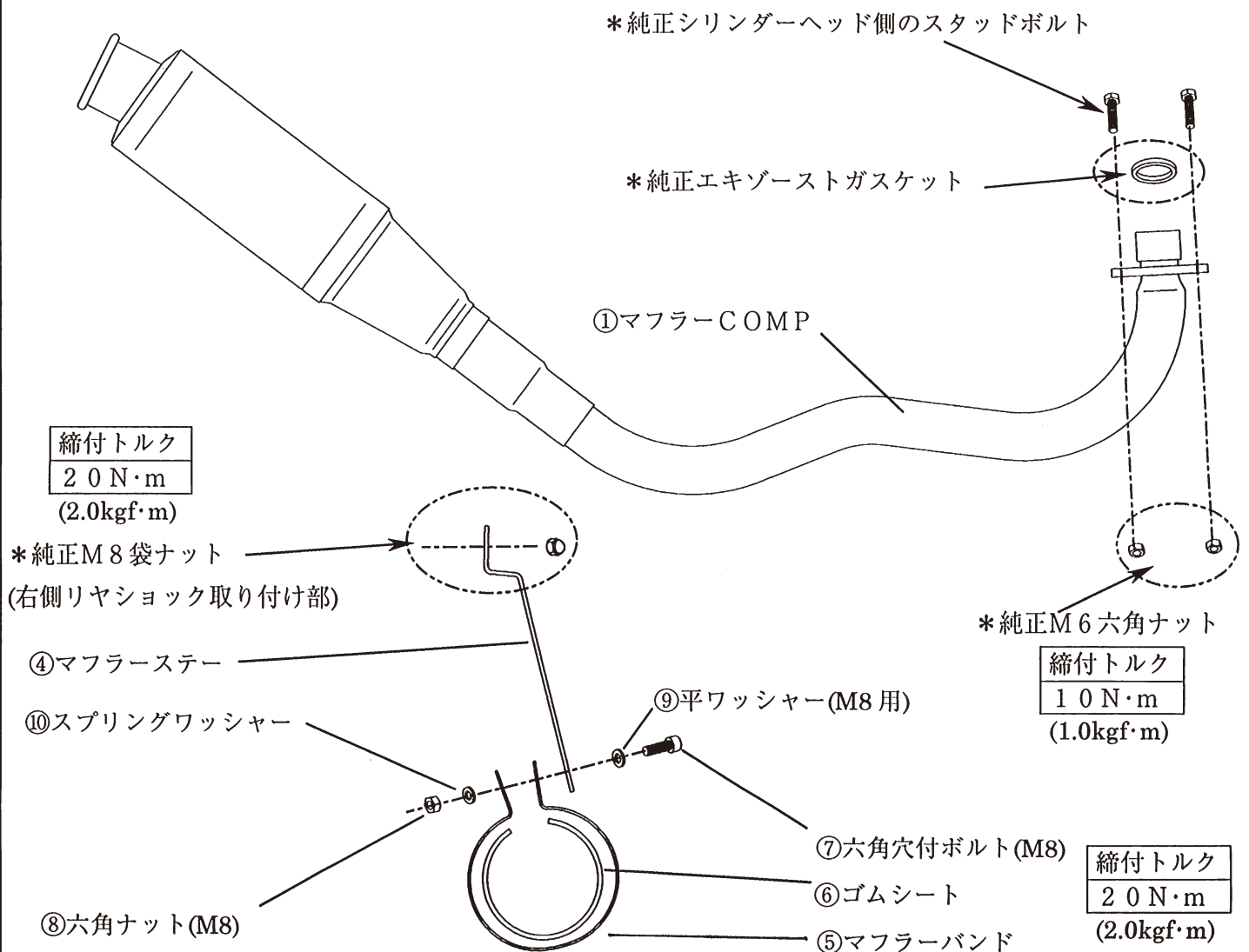
1. エキゾーストフランジ部の六角ナット(M6/2ヶ)を取り外します。
2. エキゾースマウント部裏側の六角ナット(M6/1ヶ)を取り外します。
3. フレーム右側マフラスターの六角ボルト(M8/1ヶ)を取り外します。
4. 純正マフラーを取り外します。
5. エキゾーストガスケットを取り外します。

## < レーシングカーボンマフラー組付け方法 >

1. 純正エキゾーストガスケットを新品に交換します。(キットには付属していません)  
 HONDA純正エキゾーストパイプガスケット 品番/18291-001-010( '92)  
 18291-HB2-900('95~)
2. ④ゴムシートを①マフラーCOMPサイレンサーのカーボン部に巻きつけ、マフラーバンド、②マフラスターを⑤六角穴付きボルト(M8)、⑦平ワッシャー(M8用)⑥六角ナット(M8)、⑧スプリングワッシャー(M8用)で仮組みします。
3. ①マフラーCOMPのフランジ部を純正六角ナット(M6/2ヶ)で仮組します。

4. 車体右側リヤショック上部取り付けの袋ナットを取り外し、手順2. で仮組した  
②マフラスターの上部穴をリヤショック取り付け部 (M10袋ナット部) に仮組します。
5. 各部に干渉の無いように確認して仮止めしていたボルト、ナット類を増し締めします。
6. エンジンを始動し、シリンダーヘッドとエキゾーストパイプ取付部から排気漏れのないことを
7. 確認して作業は完了です。

- \* 最初にエキゾーストフランジ部を止めている六角ナット(M6/2ヶ)を増し締めし、その後に各ステー部を増し締めしてください。
- \* ボルト類等の固定の際は、必ずトルクレンチを使用し、所定トルクにて均等に締め付けて下さい。均等に締め付けていなかったり、また、締め過ぎた場合には排気漏れやフランジの変形、ボルトやナット類の損傷などのトラブルの原因となります。



株式会社 **デイトナ** 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮4805

©デイトナ商品についてのご質問、ご意見は、「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955までお願い致します。

2000.06.26